

ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

- ⚠ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。扉の反り、変色などの原因になります。
- ⚠ 扉に接着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。
- ⚠ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- ⚠ 扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないで下さい。指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⚠ 扉の開閉にあたっては、必ず取手を持って操作して下さい。取手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ⚠ 扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使い下さい。強い風などで、勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどと思わぬケガをする恐れがあります。
- ⚠ 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。

- 点検・お手入れについて
- 1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きして下さい。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固絞った雑巾で拭き取して下さい。汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。
- 2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
- 3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用して下さい。電動ドライバーを使用した場合、ネジ頭が壊れる恐れがあります。
- 4. 扉の調整で丁番固定ねじを緩めた場合は調整後必ず締め付け、ガタツキが無いことを確認して下さい。脱落の原因になる恐れがあります。
- 5. ドアが傾いたり、ガタついている時は、丁番固定ねじを締め直して下さい。
- 6. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状態を確認して下さい。ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

- 施工上の注意
- ⚠ 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。
- ⚠ 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損の原因になります。
- ⚠ 造作材・建具枠と柱・間柱・まくさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないで下さい。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。
- ⚠ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。
- ⚠ 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

マークの見方

⚠	この表示のマークは「留意を要することが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。」
⚡	この表示のマークは「してはいけない禁止」内容です。
❗	この表示のマークは「必ず実施して頂く」指示内容です。

お客様へのお願い
 弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くための
 お願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明
 書に記載しております。
 施工後は、必ずお施主様に手渡して頂きますようお願いいたします。

はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。
 運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明を
 とり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。
 ※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。
 《施工後は当社では責任を負いかねます。》

■ 施工手順

1 下図に従い縦枠と横枠を枠組ビスで固定しフレームを作ります。
 縦枠上部の半貫通穴を裏面より貫通させてから横枠を固定してください。

縦枠と鴨居の固定は下図の要領にて固定して下さい。

※ログナットの穴が組み立てビスに合わない場合ドライバーにて下図のように直して下さい。

※斜線部分は現場にて加工願います。

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

※縦枠は必ず、下端をカットして施工してください。

※ログナットの穴が組み立てビスに合わない場合ドライバーにて下図のように直して下さい。

※斜線部分は現場にて加工願います。

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

2 フレームを柱間に入れます。
 ※さげふり・水準器を用い水平垂直を出しねじり等がない事を確認しながら、縦枠の取り付け用穴へ枠組ビスで固定してください。
 ※この際タイコ・ツツミが出ないように特に注意してください。

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

3 戸当たりとケーシングを右図1.2に従い取り付けください。
 ※木工用ボンドと針釘を併用して取り付けください。
 ・戸当たりの足の外側へ下図のように接着剤を塗布してください。

（接着剤は現場調達です。）

※パッキン付戸当たりを横枠へ、パッキン無し戸当たりはラッチ受け側、縦枠に取り付けてください。
 ※戸当たりは図2のように横枠で取付けてください。
 ※取り付けの際、横枠面を最初に叩き込み、次に、縦枠面を叩き込んでください。
 ※戸当たりは、かい木等使用し、直接ハンマーなどで叩き込まないでください。
 ※接着剤は必ず使用してください。使用する接着剤は樹脂&木製品接着可能（F4、又はノンホルムタイプ）をご使用ください。（現場調達）
 ※はみ出した接着剤は拭取して下さい。

※子フランス落し用受金具の穴加工を下図位置してください。（子ドアと同梱）

※枠や扉の吊り込み状態によっては左記寸法でうまく納まらない場合もありますので、必ず吊り込まれた建具に合わせて位置の確認を行って下さい。

4 扉の吊上

1. 上側の扉金具の軸を引っ張り、下側の扉金具の軸を下側の枠金具の軸受けへ差し込みます。
2. 上側の軸を軸受けの位置に合わせて、扉金具の軸を放します。
3. 上側の軸受けを軸が隠れるまで下ろし、隙間を隠します。
4. 扉を開閉し、作動を確認します。

※注意 ドア表面に養生テープを貼らないでください。

※指図は左側のドアの施工例となります。

部品表（組立前に必ずご確認ください。）

No.	名称	数量
①	縦枠（丁番付）	2
②	横枠	1
③	戸当たり（縦枠用）	2
④	パッキン付戸当たり（横枠用）	1
⑤	枠組ビス・固定用ビス	14
⑥	ログナット	4

別梱包

(a)	親ドア本体	1
(b)	子ドア本体	1
(c)	ケーシング	1式
(d)	ハンドル・錠セット	1

部品リスト

* 召合塞ぎ材の取付け（扉と同梱） ※戸当たり側に取付けてください。

- (1) 必要な長さにカット
- (2) ベース部材をネジ止め
- (3) カバー部材の取り付け

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

建て付け調整

※建付け調整は必ず、手回しドライバー（NO:2 サイズ）を使用してください。
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。

ラッチ調整

ラッチの掛かりが悪かったり逆にガタついたりする場合は、右図の要領にてラッチ受けにて調整してください。

扉の調整

上下調整（出荷時より±2mm）

- ① 下側の枠金具のキャップを外します。
- ② プラスドライバーで調整ネジ(A)を調整します。
- ③ 調整が終わったら上側の軸受けを下ろし、隙間を隠します。
- ④ 外したキャップを取り付けます。

前後調整（出荷時より±1.5mm）

- ① 固定ネジ(B)を緩め調整ネジ(C)にて位置を調整します。
- ② 固定ネジ(B)を締めます。

左右調整（出荷時より±2mm）

- ① 固定ネジ(B)を緩め調整ネジ(D)にて位置を調整します。
- ② 固定ネジ(B)を締めます。

レバーハンドルの取り付け 扉の吊り込み時に上下を御確認下さい。
 ハンドルの取り付けの際は、同梱の取り付け説明書を参照して下さい。

親子ドア 寸法図

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。